

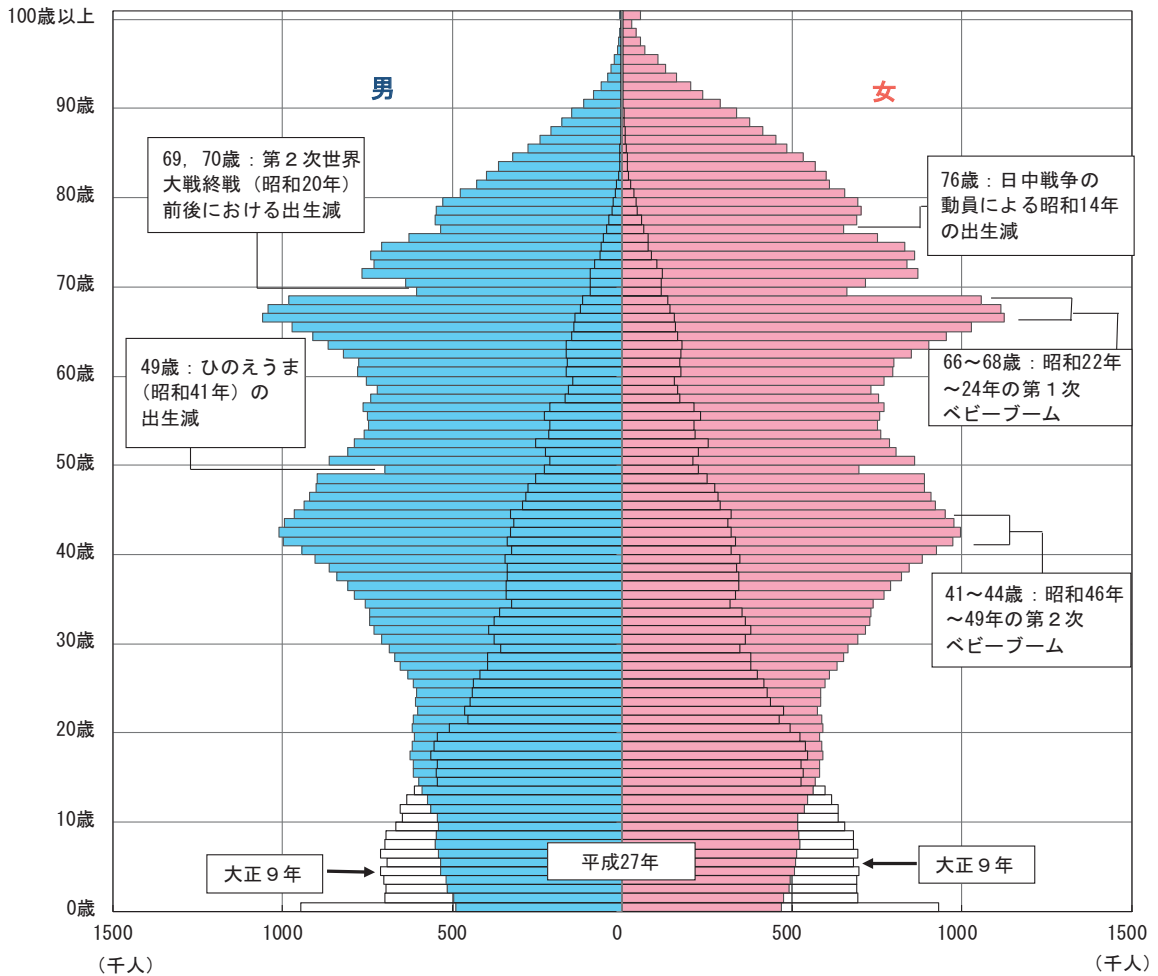
# 1 人口 -社会のみえない変化-

普段の生活では目にみえませんが、人口の構造は変化しています。男女・年齢や地域の違いによってどのような変化が起きているのかみていきましょう。

## Q1 昔と今の人口ピラミッドを比べると何が分かる？

確報

人口ピラミッド（大正9年，平成27年）



**A 大正9年に比べて、平成27年は60歳代後半や40歳代前半の人口が多く、15歳未満の人口が少ない**

◆ 大正9年に比べて、平成27年は総人口が多い

用語① P. 31



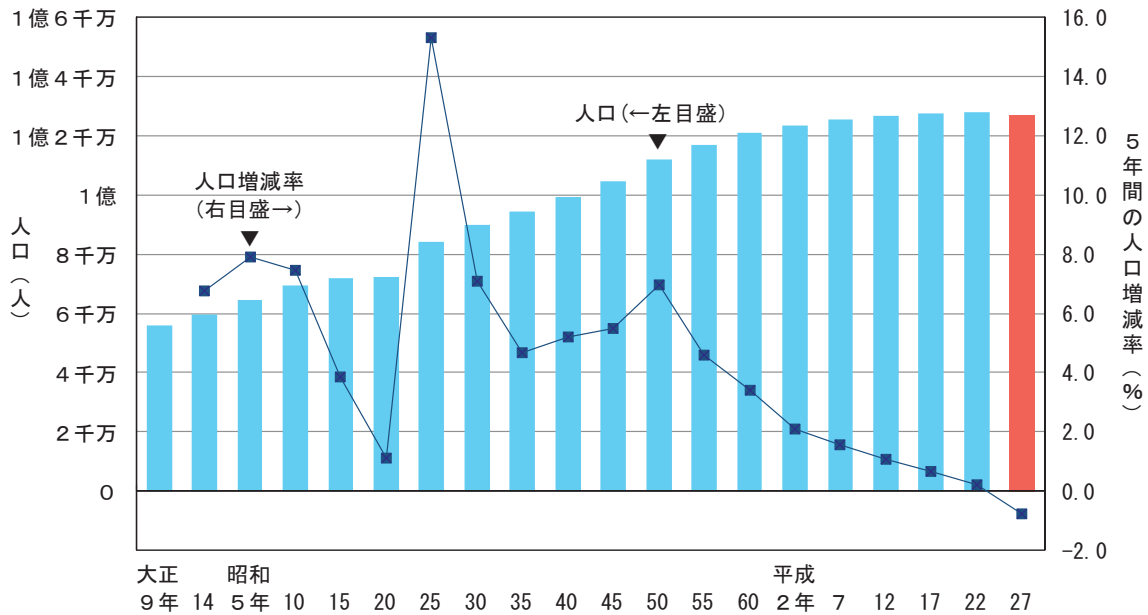
《ポイント》

「丙午（ひのえうま）」とは干支の一つ。60年に一度、まわってきます。この年に生まれた女性は気が強い性格になるという迷信から、子供をもうけることを避ける夫婦が増え、人口が極端に少ない年になったと考えられています。

Q2 日本の人口は何人？

人口及び人口増減率の推移—全国（大正9年～平成27年）

確報



A 1億2709万人

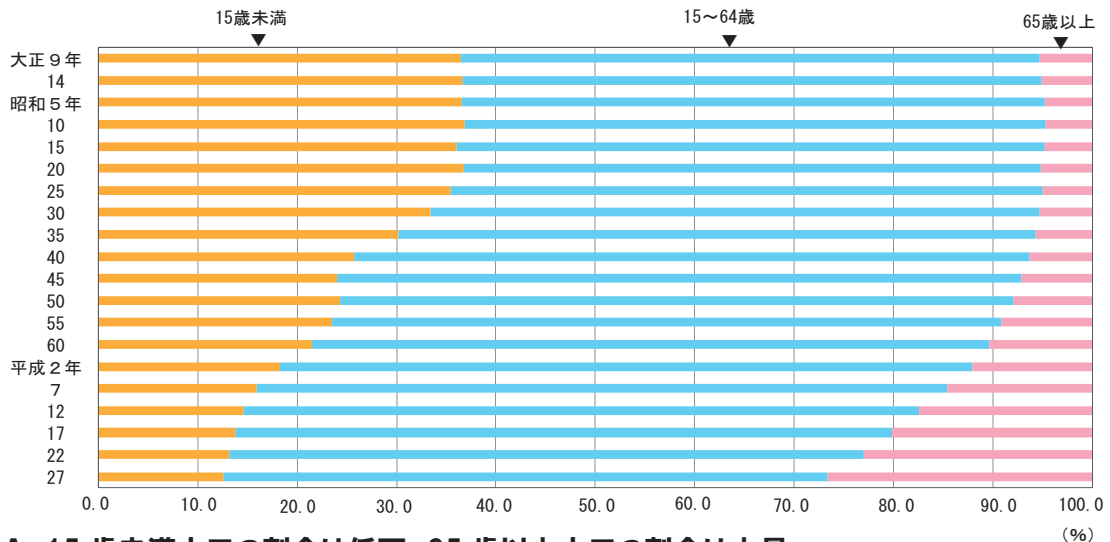
- ◆ 大正9年の調査開始以来、初めての減少
- ◆ 人口増減率は、日中戦争、太平洋戦争の影響で低下し、その後の第1次ベビーブームで急上昇。第2次ベビーブームにより昭和50年に大きく上昇するが、その後低下

注意点① P. 31

Q3 年齢別の人口はどう変わっている？

年齢（3区分）別人口の割合の推移—全国（大正9年～平成27年）

確報



A 15歳未満人口の割合は低下、65歳以上人口の割合は上昇

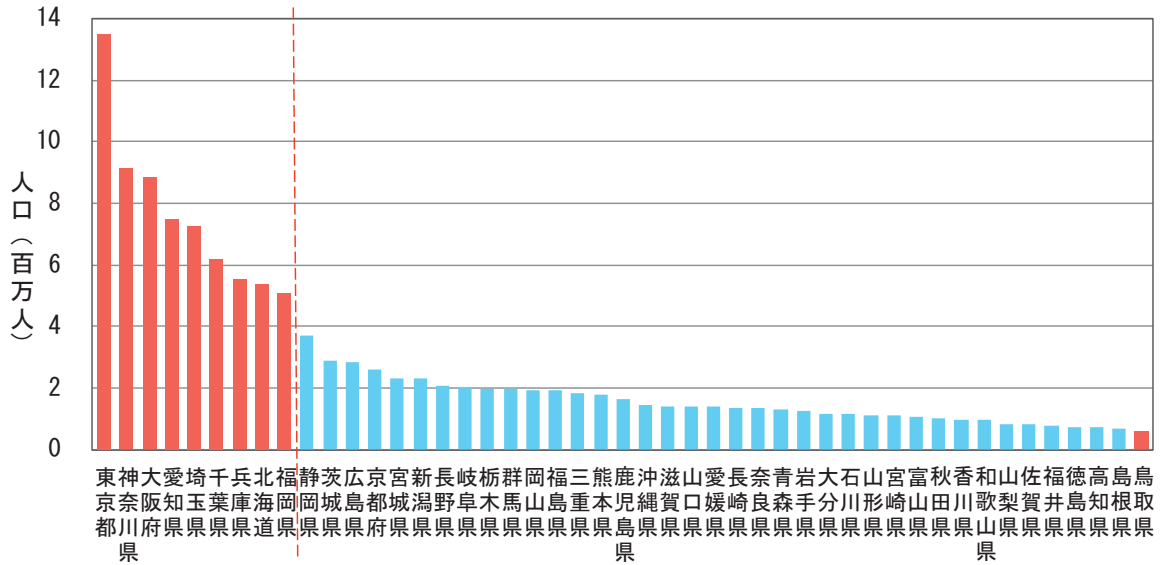
- ◆ 15歳未満人口の割合は昭和55年以降低下し、平成27年は12.6%で調査開始以来最低
- ◆ 65歳以上人口の割合は昭和30年以降上昇し、平成27年は26.6%で調査開始以来最高

注意点② P. 31

### Q4 最も人口が多い都道府県はどこ？

確報

#### 人口—都道府県（平成27年）



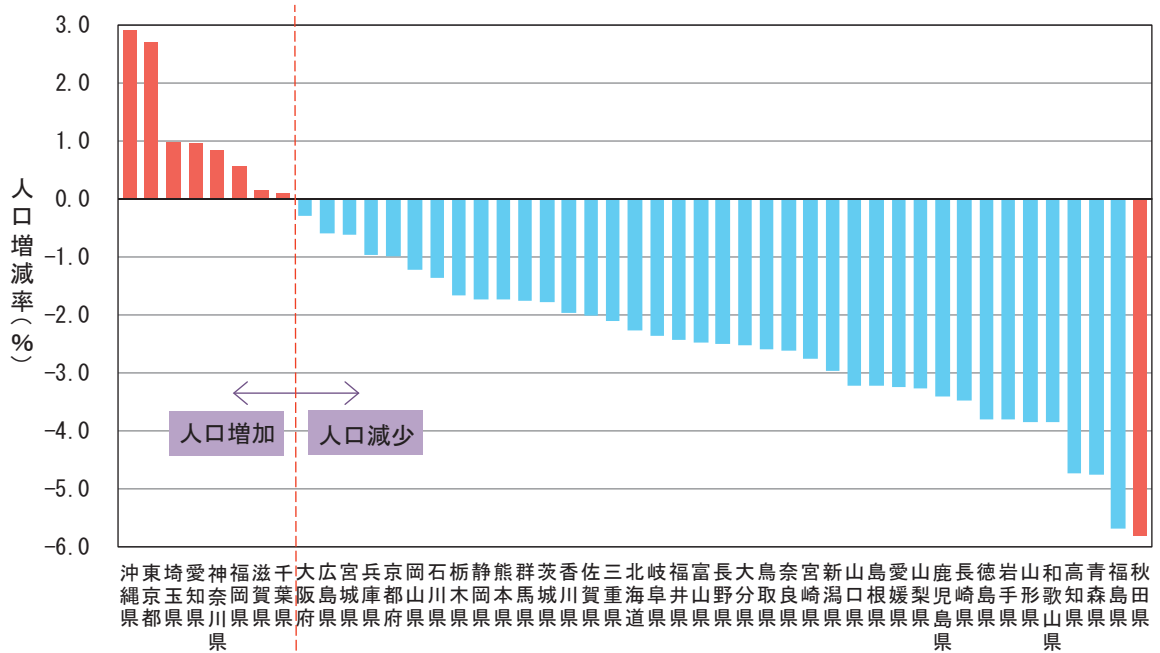
#### A 東京都(1352万人)で、全国の1割以上を占める

- ◆ 東京都は最も人口が少ない鳥取県（57万人）の23倍以上
- ◆ 人口上位9都道府県を合わせると、全国の5割以上を占める

### Q5 5年前と比べて、人口が増加した都道府県はどこ？

確報

#### 人口増減率—都道府県（平成22年～27年）



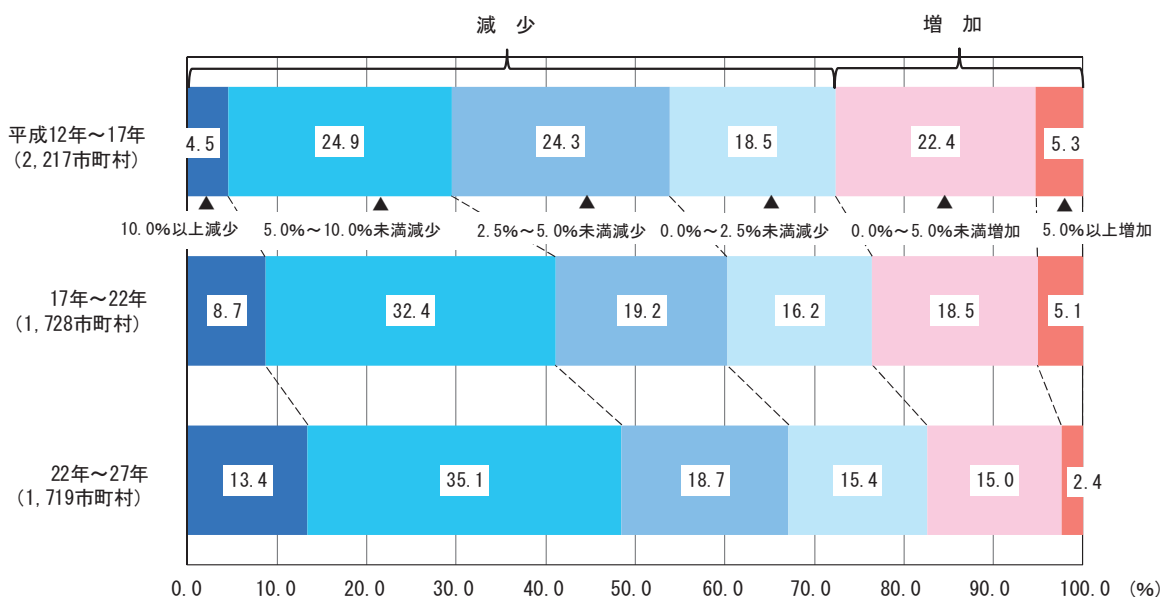
#### A 沖縄県, 東京都, 埼玉県, 愛知県など8都県

- ◆ 秋田県, 福島県, 青森県, 高知県など39道府県では人口が減少
- ◆ 最も人口増加率の高い都道府県は沖縄県（2.9%）
- ◆ 最も人口減少率の高い都道府県は秋田県（5.8%）

## Q6 5年前と比べて、人口が減少している市町村の割合はどれくらい？

確報

人口増減率階級別市町村数の割合の推移（平成12年～27年）



### A 82.5%(1,419市町村)

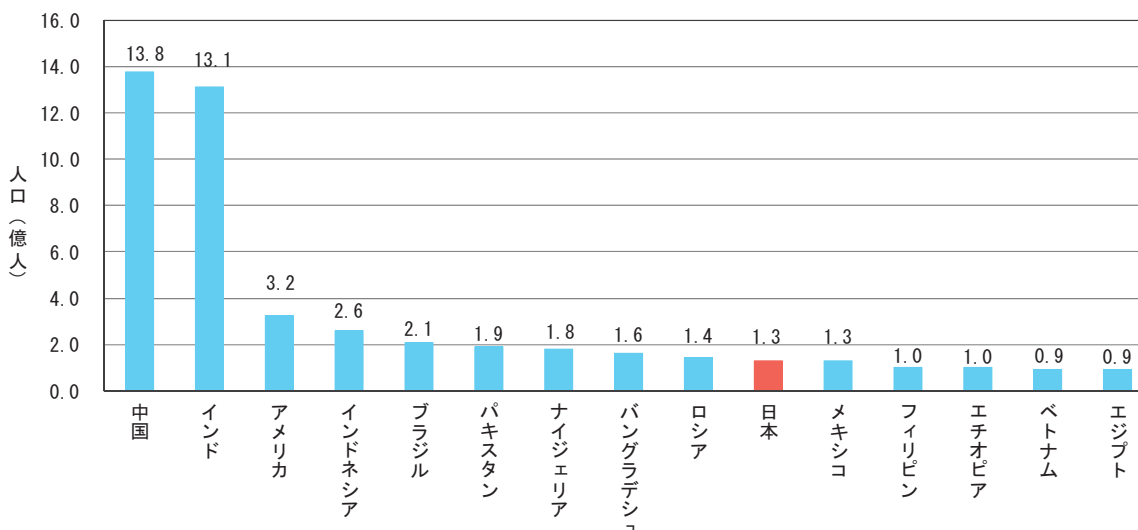
- ◆ 人口が減少している市町村の割合が引き続き上昇
- ◆ 人口が5.0%以上増加している市町村の割合が半減

注意点③ P. 31

## Q7 日本の人口は世界で何番目に多い？

確報

世界各国の人口（2015年）



資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2015 Revision"による。  
ただし、日本は国勢調査の結果による。（2015年の人口上位15か国結果）

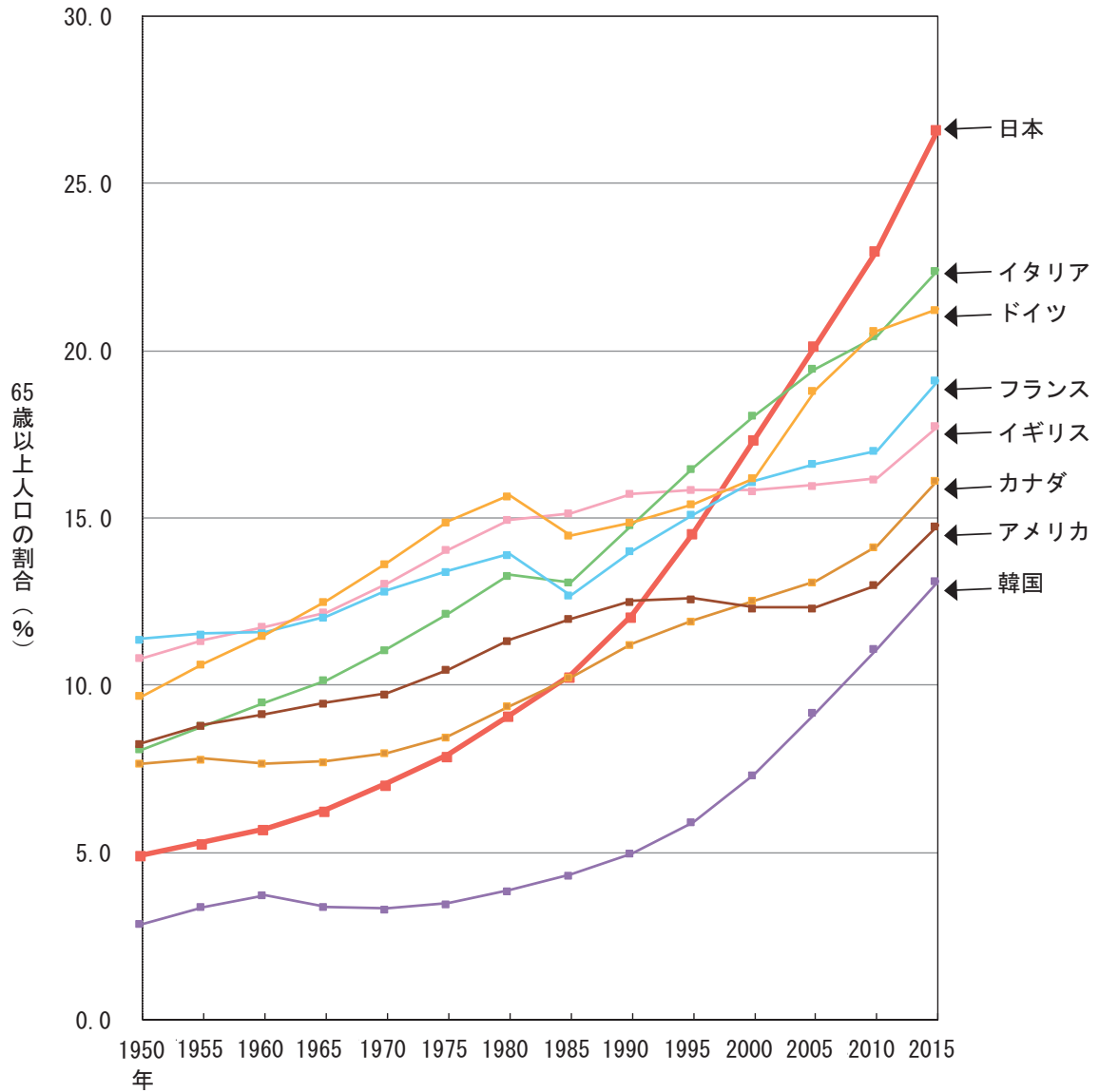
### A 10番目、世界人口の1.7%を占める

- ◆ 1位 中国（13.8億人） 2位 インド（13.1億人）
- ※ 順位は小数第二位以下の数値による

Q8 日本の65歳以上人口の割合は世界で何番目に高い？

確報

65歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2015年）



資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2015 Revision"による。  
ただし、日本は国勢調査の結果による。

**A 1番高い(26.6%)**

◆ 2位 イタリア (22.4%)      3位 ドイツ (21.2%)